



1日施設長券を行使しました。

緑の園 11月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第77号

令和4年11月1日発行

Asia/Asia(1982)

改築移転工事の 進捗状況。

丸瀬布ヒルトップハイツ等移転工事の進捗状況についてお知らせいたします。

11月になり季節的にも施設内の工事が主体となってきております。



なので、外から見てもどこまで進んでいるのかはわかりません。

そんな感じではありますが、緑の園/グリーンプラザにかかわる工事につきましては床下の配線工事が行なわれており、業者の方々が定期的に入出入りされております。

今後とも工事へのご理解を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策 について

北海道におきまして感染者数は10月初め減少したものの中旬以降、一転増加に転じています。

厚労省の「新型コロナウイルス感染症対策分科会」(10/13開催)で今冬、感染拡大が想定されて



いるのは新型コロナウイルスの患者が1日45万人、加えてインフルエンザの患者が1日30万人規模で同時に流行し、ピーク時には1日75万人と、数字が大きすぎてピンときませんが第8波の到来が予測されています。

インフルエンザの予防接種については、詳しい日程は未定ですがヒルトップハイツ、緑の園ならびにグリーンプラザをご利用されておられる方々を対象に実施する予定となっております。

さて、政府は9月に発表した「Withコロナに向けた新たな段階への移行」の中で、その基本的考え方として感染法上の措置について、高齢者・重症化リスクのあるものに対する適切な医療の提供を中心とする考え方に転換し、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立をより強固なものとした、Withコロナに向けた新たな段階に移行する。(以上、Withコロナに向けた政策の考え方より抜粋)

と、した上で陽性者の自宅療養期間も短縮されました。



感染拡大防止策としては、今まで同様**適切なマスクの着脱、手洗い等の手指衛生、換気、そして密閉空間・密集・密接場面のいわゆる三密の回避等**基本的な感染対策が重要とされています。

先が見えない状況が続き、いつまで我慢しなければならぬのか心が折れそうになってしまいますが収束の日が来ることを信じ感染対策取り組んでいきましょう。

先月の出来事です。



新型コロナウイルスの感染者数は増加に転じてしまった感じですが、レクリエーションなんかはこれまでの一律的な禁止から必要な感染防止対策を工夫しながら実施できるよう取り組みを始めています。

グリーンプラザにおきましては先月の6日から今まで集まるのが困難なためできなかったラジオ体操が再開され久しぶりのにぎやかさを感じました。

また、緑の園では9月28日に開催されたお楽しみ会の一等商品(?)だった「一日施設長券」を見事引き当てた安部さんが13日に行使され辣腕ぶりを発揮し私(おばら)の立場が危くなる一幕がありました。

退室するとき安部さんは「びっくりしました!」と言い残して部屋を後にされました。(ご苦労様です)

19日の水曜日には以前「遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ居宅介護支援事業所」でケアマネージャーとして勤務されておられた秋葉さんが緑の園のご利用者様へのボランティア活動の一環としてレクリエーションを提供していただきました。

大人数が集まったの活動はまだ困難であるため10人程度の参加人数でしたが体操したり、空き缶釣りゲームに興じたりと、1時間程度とても楽しい時間を過ごすことができました。

秋葉さんのボランティア活動については感染状況を



考慮しながらとなりますがゲームばかりではなく、手芸活動等も予定されております。

1回あたりの参加人数には限りはありますが皆さんどうぞお楽しみにしてください。

さて、先月の13日(木)に緑の園/グリーンプラザの職員研修で北星学園大学/北星学園大学短期大学部の副学長 中村和彦 様にお越しいただき「協力を支えるもの～職場で必要とされるコミュニケーションとは～」というテーマで1時間少しでしたがご講義を賜りました。

“コミュニケーションとは相手を理解しようとするツールではなく、自分と相手の違いを理解するためのもの…。つまり、わたしたちは互いを完全にわかりあうことはできない…。だそうです。

なので、あえてわかろうとせずとも違いがわかったうえで付き合うことが必要とコミュニケーションを難しく普段から考えてきた私たちにとって「わからなくても大丈夫」とそっと背中を押してくれたような講義でした。

予定していた講義時間は「あっ」という間に過ぎ多くの職員が「もっと聞きたかった」と講義後申しておりました。

コロナ禍でなければ、講義が終わった後直接先生からお話を聞ける時間もとれたのでしょがつつく残念です。

新型コロナウイルスは高齢者施設に限らず、学校でも流行っています。

学校生活・行事に影響が出ている状況は本当に心が痛みます。

学芸会・発表会のシーズン。一所懸命練習した成果を思う存分発揮できることを心から願っています。(コロナどっか行け!と真剣に思うおばらでした。)

